

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.15
平成24年9月4日

2学期も心ひとつに！

いよいよ2学期が始まりました。夏休みは楽しかったですか？たくさんの思い出を作ることができたことと思います。桜小でも夏休みからサッカー・バスケの練習、ブラス・バトンの練習等、5・6年生を中心に汗を流しながら、力一杯取り組んできました。

サッカーでは、練習のない日でも炎天下の運動場で6年生を中心に自主練習をやっていた姿が、校長先生には印象的でした。本当によく頑張ってくれます。

2学期はたくさんの大きな行事がありますので、みなさんは、「**2学期もがんばるぞー**」という気持ちを心にもっていることと思います。まず、9月の運動会に力一杯取り組んでほしいと思います。そして、10月にはサッカー・バスケの大会、11月には作品展があります。1000人近い児童で創り上げ、実施する行事の最後の機会となります。ですから、今まで以上に力を合わせ、心をひとつにして桜小の歴史に残り、私たちの心に残る、感動あふれるものを創り上げてほしいと願います。そのためには一人一人が桜小学校の児童だという気持ちをしっかり高めて参加してほしいと思います。

人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことのできる人に！

校長先生からの2学期の最初のお話は……それはこの二人のお話です。のび太君としずかちゃんですね。

のび太君としずかちゃんは、やがて大人になって結婚します。のび太君は、しずかちゃんと本当に結婚できるのか不安に思い、ドラえもんタイムマシンで結婚前夜へ。そこで見たものは、結婚を迷うしずかちゃんの姿でした。すると、彼女のパパは、「のび太くんを選んだ君の判断は正しかった」としずかちゃんの背中を押し、「あの青年は人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことのできる人だ」と、のび太くんを評価します。



そう、のび太は決して単なるダメ男ではなく、心優しい大人に成長していたのです。なにもかもドラえもんに頼りきりのようなイメージがあるのですが、しずかちゃんとの結婚は自分の力でつかみとったのです。大人になったのび太はきっと、妻や子ども、ずっと一緒にいたドラえもんを優しいまなざしで見つめているのだらうと思います。

校長先生はみなさんに、のび太君のように「人の幸せを心から願い、人の不幸を悲しむ」人になってほしいと思っています。友達に対しても、様々な人たちに対しても、思いやりをもって取り組んでほしいです。そういう人は、必ず自分も幸福になっています。

これから始まる2学期、ぜひ心に深くとめてほしいと思います。

